

# 元気を出そう！ 勇気を出そう！ 頑張っぺ！

## Part 2

2011.3.28

須賀川地区会長 渡辺徳之

この度の東日本大震災においては、大変な状況におかれている方も少なくないと思います。被災された会員の皆様、会員企業、ご家族と社員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

あの地震から2週間が過ぎました。私の方は、ようやく住むところが決まり、地震後初めてベッドに寝る事が出来ました。帰る場所があり、温かいご飯を食べ、暖かい布団で寝る事が出来る、こんな何でもない事に心から感謝しています。避難所での生活や帰る場所のない人がいると思うと、本当に不憫でなりません。そして解決しない原発の問題は、農作物への影響・飲み水への影響は測り知れません。しかし、

ここで負けてはいられません。諦めてはいけません。今こそ、我々一人ひとりが勇気を持って立ち上がらなければ、地域はなくなってしまう。この地を離れた人々が、帰れる場所を失ってしまいます。

不安な日々が続きますが、今ここで我々中小企業経営者は何をすべきでしょうか。

### 社員の不安を一つでも取り除こう！

社員とその家族の健康状態を把握し、ライフラインが完全に復旧していない場合、その復旧まで経営者を中心に社員全体での助け合いをしましょう。さらには、燃料等の問題で、まだまだ物資が行き届いていない社員もいます。何か不足している物、困っているものがあれば、情報を集約し助け合いましょう。ちなみに、今週中には弊社営業が関東圏に入るので、困っている物資があれば購入してきますので、遠慮なく相談して下さい。

また、給与や今後の仕事の保証など、我々経営者以上に不安に思っている社員も少なくありません。早めに給与支払いに対しての安心感を・・・保障出来ない場合、「中小企業緊急雇用安定助成金」(ハローワークへの早めの相談を進めます。手続きがかなり面倒です。)などの社員の生活の安定への情報を提示しましょう。

## 得意先、仕入先へ元気を届けよう！

まず、自社の被害の状況を知らせましょう。経営者・社員の安否。建物、製造ラインなどへの損害。営業活動の現況など、震災時から今までの変化、復興を正確に伝え、今後の計画へつなげましょう。

弊社の例では、仕入先から取引条件の変更を申し込まれました。（現金取引以外は受け付けない。支払いの短縮化等）仕入先も不安な所ではありますが、自社の状況を正確に伝え、自社の復興計画を伝え安心させましょう。

また、営業活動などを通して、得意先様へ元気を届けましょう。

## 地域へ元気を発信しましょう！

この先行きの見えない不安感が、地域全体へ蔓延っています。この歴史的な震災へは、国も行政も満足な政策を打ち出す事は無理です。しかし、ここで暮らす以上、ここで商売をする以上、地域に住む人を、地域復興を考えなければなりません。

困っている人がいたら助け合いましょう。悩んでいるひとがいれば相談にのってあげましょう。家族に、隣人に、道行き交う人に、元気を分け合いましょう。

「おはよう！」

「こんにちは！」

「お疲れ様！」

「がんばっぺない！」

何でも良いですから・・・大きな声で声を掛け合いましょう。

Fax やメールよりは、電話を掛けましょう。

時間があるなら、会いに行きましょう。

このような時だから、仲間の顔を見れば元気が出ます。

# さあ、みんなで元気を分け合いましょう！！

# がんばっぺない！！